

# ボーリング柱状図

調査名 災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託(大坪川)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.3 (左岸側)		調査位置	呉市広町 地内 大坪川地区			北緯	34° ' "	
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成31年4月5日 ~ 31年4月9日		東経	132° ' "	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ 鑑 定 者		ボーリング責任者		
孔口標高	49.15m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 45°	使用機種	試錐機 YBM-05
総掘進長	6.00m	度		向		エンジン	ヤンマーNFAD9	ポンプ	B P - 5 5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩色	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風変質	記事	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩級	孔内水位 測定月日	(ルジオン標準貫入)試験		原位置試験	室内試験	掘進状況						
													N値	換算ルジオン値			掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
	48.75	0.40	シルト質砂	暗褐色					全体にシルト質細砂主体。3cm以下の角礫点在。含水小。	0.0			0					330	0.2	70	0	0	0
1	48.25	0.90	礫混じり砂	黄灰					全体に細礫混じり細~粗砂主体。3cm以下の角礫点在。含水小。	0.0			0					165	0.2	220	0.1	清水	10
2			強風化花崗岩	黄褐色	E VII	d ε	4		コアは概ねシルト質砂状。石英、長石も不明瞭で粒子が認められるのは僅かである。原岩は粗粒花崗岩。	0.0	DL		0					165	0.2	220	0.1	清水	10
3	46.35	2.80								0.0			0					186	0.2	220	0.1	清水	10
4			風化花崗岩	暗褐色	VI	d δ	3		コアは風化により粒子が分離しやすく砂礫状。石英、長石の粒子が明瞭な粗粒花崗岩。石英は硬質で、深くなるに従い長石が硬質になる。	0.0	DH		0					186	0.2	220	0.1	清水	10
5	44.25	4.90								0.0			0					97	0.2	220	0.1	清水	100
6	43.15	6.00		暗黄灰	V				コアは礫状。粒子が分離しやすい。硬質な石英や長石は容易に細礫~粗砂に崩れる。有色鉱物は容易に細砂状に崩れる。	0.0			0					90	0.2	220	0.1	清水	10